

## 建築とコンピュータ

「コンピュータの中の建築」

「建築」と「建物」“architecture” and “building”

「建築」＝建てられたモノ かつ 建てるというコト

建てるというコト

建築家は、つくりかたをつくる

ミース・ファン・デル・ローエ「われわれは秩序を持たねばならない。秩序とは、それぞれのものをそれに適した所に置き、それぞれのものに、その性質に応じた役目を与えることである」

ル・コルビュジエ「建築する、それは秩序づけることなのである。何を？すなわち諸々の機能ならびに物体を秩序づけること」

「建築」＝世界を秩序だてること

## 「機械という世界モデル

ル・コルビュジエ「住宅は住むための機械である」

「機械」モデルの失効

機械から建築へ

機械＝普遍性＋大量生産性

建築＝個別性＋一回性

「建築」＝世界モデルとしての「建築」

## 計算する機械

計算するだけの機械→目的のない機械→理解しがたい機械

コンピュータを理解するためのモデル＝人格モデル or 空間モデル

「環境」としてのコンピュータ

「建築」と「コンピュータ」

## 「環境」と「世界」

「世界」＝「環境」の可能性の全体

世界の可塑性への信憑がデザイン行為の基礎

## 参考文献

坂村健, 鈴木博之編『バーチャル・アーキテクチャー：建築における可能と不可能の差』東京大学総合研究博物館, 1997

レイナー・バンナム『第一機械時代の理論とデザイン』石原達二, 増成隆士訳, 鹿島出版会, 1976

木田元『ハイデガーの思想』岩波新書, No.268, 1993